

III 実践データ

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-04-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024937

Ⅲ 実践データ

「Ⅰ 理論と実践事例」の「6 学習状況の評価と考察(1)教科における評価」で示した、**AB 3**と**AB 4**の知識の構築状況について、その基となった教科別の実践データを収録した。

1	国 語 科(1)	2 年「説得する言葉・納得する言葉」
2	国 語 科(2)	1 年「物語の世界・小説の世界」
3	社 会 科(1)	1 年「世界の諸地域の特色」
4	社 会 科(2)	2 年「武士の時代」
5	数 学 科	3 年「論理・測量の拡張」
6	理 科(1)	3 年「原子の先にあるもの」
7	理 科(2)	2 年「電気と人とのかかわり」
8	音 楽 科	3 年「心と音楽とのかかわり」
9	美 術 科	3 年「美術の『チカラ』」
10	保健体育科	3 年「健康な生活と病気の予防」
11	技術・家庭科(技術分野)	1 年「高度情報社会を生きる」
12	技術・家庭科(家庭分野)	1 年「食の現代的な課題に迫ろう」
13	英 語 科	1 年「My Precious Person」

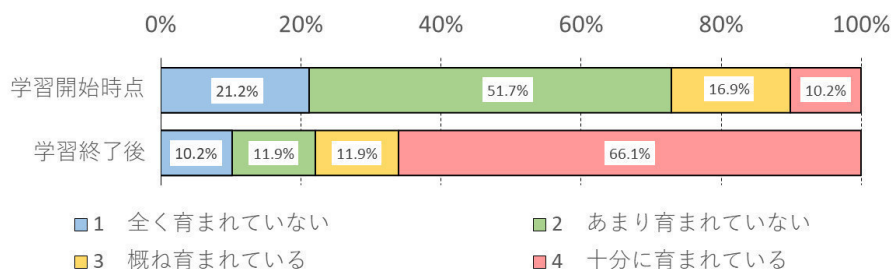


知識の獲得状況 1 ○国語科（１）

学年	2年	教科	国語	授業者	黒柳幸夫
学習のくり名	説得する言葉・納得する言葉				
学習場面	「対話秘けつ集」を活用した話す・聞く活動の相互評価				
AB4の知識	論理的な言語能力を身につけ、目的や相手、場面に応じて自分の考えを的確に伝えたり、書き手や話し手のものの見方や考え方を自分と対比して新たな発見や批判や共感をしたりすることで、自分のものの見方、考え方が広がったり深まったりするという、自己の成長が促されることに対する捉え。				
本質的な問い (レベル4)	説得力があり、聞き手の納得や同意が得られる話の構成や展開、表現の仕方や話し方でコミュニケーションをすることの意義や価値とはどのようなものか。				
AB4の知識が十分に育まれた生徒の記述例	論理的なコミュニケーションをする意義は、「自分や相手など、相互の考えを深める」ことであると思う。相手と論理的に話し合うことで新たな気づきができ、それとともに見方が広がっていくと思うからだ。物事を一つではなく、様々な視点からとらえることによって、よりよい考えを導くことができる。今の世界において、論理的に説明をしてよりよい世界を作っていくことが重要である相手に分かってもらえなかったり、論破されてしまったりしては実現できない。いくらそれが正論だったり、正義や平和だったりしても。互いの考えをよりよいコミュニケーションを用いて理解し合うことが私たちに求められている。				
AB3の知識	聞き手の納得や同意が得られる論理的な話の構成や展開、表現の仕方や話し方。				
本質的な問い (レベル3)	話の構成や展開、表現の仕方や話し方を工夫した説得力のある話し方とはどのようなものか。話の構成や展開、表現の仕方や話し方に気をつけた話の聞き方とはどのようなものか。				
AB3の知識が十分に育まれた生徒の記述例	説得力のある話し方として、根拠や具体例を入れながら述べることの大切さについて実感することができた。こうした力を用いてコミュニケーションを取ることで、自分の話す目的や、それによって物事が実現していくことで、社会の一員としての自分の存在意義も高まっていくのではないかと実感した。				

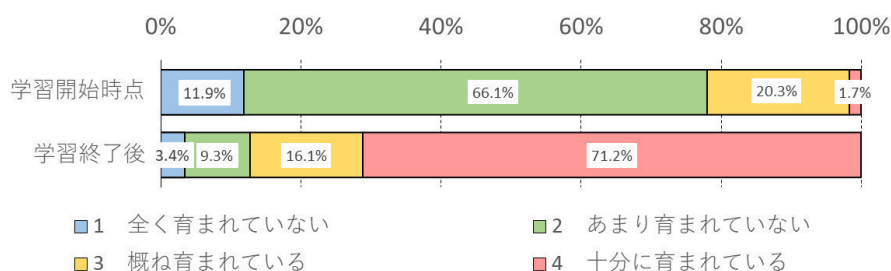
①AB4について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	25	61	20	12	118
	学習終了後	12	14	14	78	118
割合	学習開始時点	21.2%	51.7%	16.9%	10.2%	100.0%
	学習終了後	10.2%	11.9%	11.9%	66.1%	100.0%



②AB3について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	14	78	24	2	118
	学習終了後	4	11	19	84	118
割合	学習開始時点	11.9%	66.1%	20.3%	1.7%	100.0%
	学習終了後	3.4%	9.3%	16.1%	71.2%	100.0%

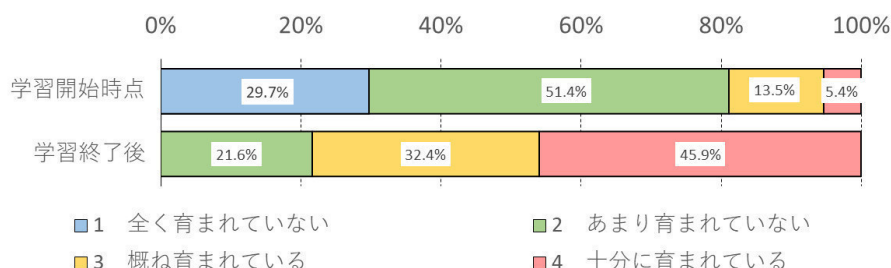


知識の獲得状況 2 ○国語科 (2)

学年	1年	教科	国語	授業者	中村 晋
学習のくり名	物語の世界・小説の世界				
学習場面	現代の小説を読む『花曇りの向こう』『星の花が降る頃に』『少年の日の思い出』				
AB4の知識	小説を読むことは自分では体験ができないようなことを文章上で疑似体験することであり、それによって登場人物の生き方や考え方にふれ、それまで自分がもっていなかった考えをもったり、他者の考えを受け入れる思慮深さをもったりすることができるようになるという、小説を読むことが自己の成長を促すという捉え。				
本質的な問い (レベル4)	現代の小説の魅力や価値にふれることにより、自分の感性が磨かれ、自分のものの見方や考え方が広がるとはどのようなことか。				
AB4の知識が十分に育まれた生徒の記述例	私は自分のものの見方や考え方が広がるというのは、人生が豊かになるということだと思う。『少年の日の思い出』を読んで、私は「大人から子どもに戻ることはできない」とことと「色々な視点から物事を捉えること」を学んだ。ヘッセが読者に伝えたかったメッセージを読み取ることで、これからの人生に生かせそうながあった。これはその本を読まなければ自分には出せなかったことだと思う。そういうことが物語や小説を読むと分かるということも魅力で、面白さだと思う。これからも多くの物語や小説を読んで、自分の人生に生かしていけるようにしたい。				
AB3の知識	小説には、作者のメッセージや作品を魅力的にする鍵となる人やものが設定されていたり、文章構成の工夫や表現豊かな描写が描かれていたりすること。				
本質的な問い (レベル3)	現代の小説において、なぜ人は魅力や価値を感じるのか。				
AB3の知識が十分に育まれた生徒の記述例	『花曇りの向こう』では、心情描写、行動描写、情景描写から主人公の心情を読み取った。直接「うれしい」「悲しい」などを使うのではなく、間接的に表現されている、その一つ一つに注目すると、心情だけではなく新たに気付く部分も多くあるのだと思った。また、思わずもう一度読みたいと思わせるような仕掛けも魅力の一つになるのだと感じた。				

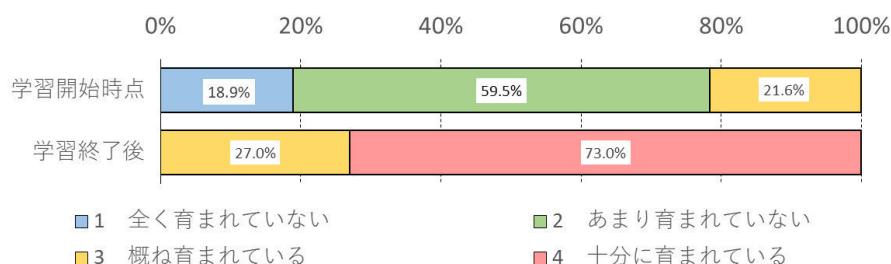
①AB4について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	11	19	5	2	37
	学習終了後	0	8	12	17	37
割合	学習開始時点	29.7%	51.4%	13.5%	5.4%	100.0%
	学習終了後	0.0%	21.6%	32.4%	45.9%	100.0%



②AB3について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	7	22	8	0	37
	学習終了後	0	0	10	27	37
割合	学習開始時点	18.9%	59.5%	21.6%	0.0%	100.0%
	学習終了後	0.0%	0.0%	27.0%	73.0%	100.0%

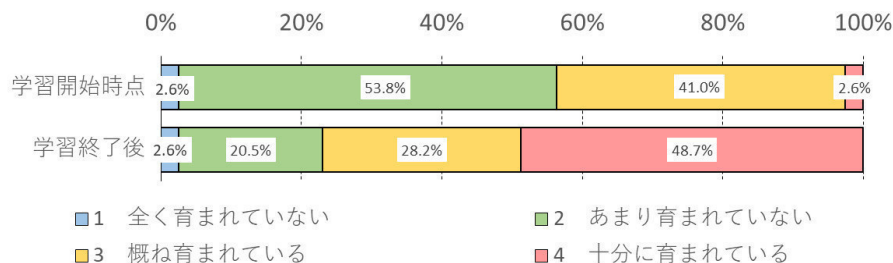


知識の獲得状況3 ○社会科（1）

学年	1年	教科	社会	授業者	山田 亘
学習のくり名	世界の諸地域の特色				
学習場面					
AB4の知識	様々な格差が存在する現代の世界において、より多くの人々が幸せに生きられる、よりよい社会を実現するには、現代の世界が近代化している中でもたらされている恩恵と弊害を理解した上で、1つでも恩恵を増やし、1つでも弊害を少なくしていくという、自己の生き方や社会のあり方に対する捉え。				
本質的な問い (レベル4)	世界における「近代化の光と陰」とは。				
AB4の知識が十分に育まれた生徒の記述例	まず、世界における近代化の光についてだ。近代化が進めば工業が大いに発達する。様々な技術が大きく進歩し、それが産業に生かされる。すると沢山の利益が生まれ、豊かな暮らしになるだろう。時代が変わるにつれ、その時代に生きる人の必要とするものも変わる。するとそのニーズに応えるために新たな産業が生まれ、世界の生活の幅が広がる。これが光だと思う。次に陰についてだ。それは経済格差が生まれるということ。それにより争いが生まれるということ。さらに環境問題に発展するというのだ。そしてこれは将来的に自らを減ぼすことになるかもしれないのだ。物事には光と陰が必ずあり、次の光と陰につながっているのだ。だから様々な視点から物事を見て、光と陰を見極めたい。そして、自分がどのように社会に貢献するのかというのを判断して、少しでも社会に貢献したい。				
AB3の知識	現代の世界で進行している近代化について捉え、より多くの人々が幸せに生きられる、よりよい社会を実現すること。				
本質的な問い (レベル3)	世界における近代化とは。				
AB3の知識が十分に育まれた生徒の記述例	私はこの共通テーマに対し、世界における近代化の光と陰はそれぞれの地域によって変わるのだと思いました。それぞれの地域によって気候や地形や民族、公用語が違うために、それぞれの国の状態も違えば、課題も違うからです。ただ世界で共通しているのは「近代化により、人々の生活は便利で豊かになっていくが、それと引き替えに人々の本当の幸せというものを失うのだ」と考えました。自然と共存し、自分の好きなまま伸び伸びと生きられることが、先端技術が普及している情報社会よりも、幸せなのだと考えたからです。				

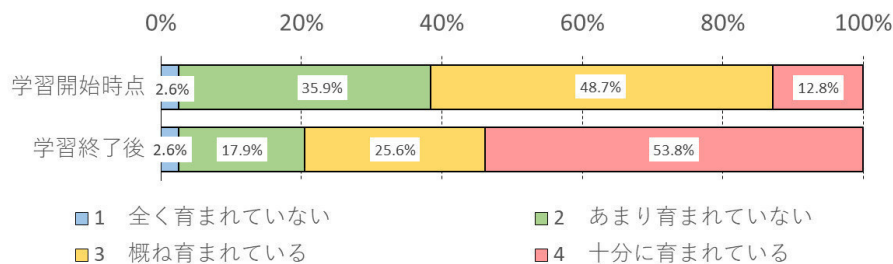
①AB4について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	1	21	16	1	39
	学習終了後	1	8	11	19	39
割合	学習開始時点	2.6%	53.8%	41.0%	2.6%	100.0%
	学習終了後	2.6%	20.5%	28.2%	48.7%	100.0%



②AB3について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	1	14	19	5	39
	学習終了後	1	7	10	21	39
割合	学習開始時点	2.6%	35.9%	48.7%	12.8%	100.0%
	学習終了後	2.6%	17.9%	25.6%	53.8%	100.0%

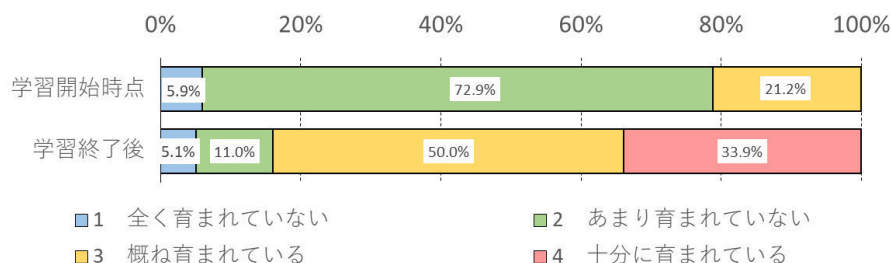


知識の獲得状況 4 ○社会科（2）

学年	2年	教科	社会	授業者	小川高明
学習のくり名	武士の時代				
学習場面					
AB4の知識	世の中を活気づけるのは民衆であり、格差をなくす政治を作るのも、貴族や武士といった一部の身分ではなく民衆である、歴史をつくるのは人間であるという、自己の生き方・あり方やそれらと関連させたよりよい社会のあり方に対する捉え。				
本質的な問い (レベル4)	武士の時代700年間から考える、人々が幸せに暮らせる社会のあり方とは。				
AB4の知識が十分に育まれた生徒の記述例	戦争をして幸せになるのは極少数の人だけで、その他の人にとっては田畑が荒らされ、戦費もとられ、といった不幸が多く、武力戦争の有無は収入の安定、社会の安定に大きく影響するものだと思います。江戸時代以前は戦乱の時代だっただけに、人々も平和を求めているのではないかと。＜中略＞学級で追究レポートを用いて交流活動を行った時、「平和」や「安定」は多くの人々の幸せにつながると他の友達も語っており、今後私たちが生きていく社会において、多くの人々が幸せに生きていくためには武力戦争の無い「平和」が必要だと思っている。世界平和の実現に向けて、果たして「平和」とは何なのかを問いつつ、様々な国の現状を学んでいかなければならないと思う。				
AB3の知識	武家社会が進展し、争乱の時代から統一政権が誕生して長く平和が続いた時代になったことにより、平和で安定した社会の中で民衆から文化が生み出された反面、貨幣経済の影響から人々の間に格差が生じてきたこと。				
本質的な問い (レベル3)	武家政治の進展から生じた光と陰とは。				
AB3の知識が十分に育まれた生徒の記述例	江戸時代は、人々の身分がはっきりと区別され、身分によって住む場所や職業も固定され、人々に選択の自由が無く、幕府に生活を支配されていたことから人々にとっては苦しい時代とも考えられるが、江戸時代の文化の民衆がその担い手となり、様々な身分の人が楽しむことができる娯楽があり、産業や交通網の発達により物質的にも豊かとなり、多くの人々にとってはゆとりある生活を送っていたのではないかと考えられる。そして、百姓一揆や打ちこわしの増加から、平和で安定した社会が崩れはじめている反面、徐々に民衆が力をつけてきたのが江戸時代だと考える。				

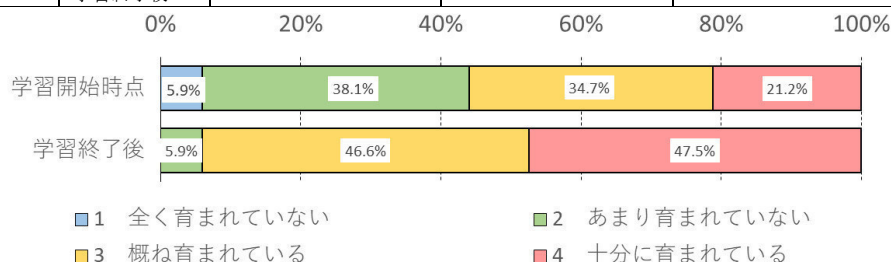
①AB4について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	7	86	25	0	118
	学習終了後	6	13	59	40	118
割合	学習開始時点	5.9%	72.9%	21.2%	0.0%	100.0%
	学習終了後	5.1%	11.0%	50.0%	33.9%	100.0%



②AB3について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	7	45	41	25	118
	学習終了後	0	7	55	56	118
割合	学習開始時点	5.9%	38.1%	34.7%	21.2%	100.0%
	学習終了後	0.0%	5.9%	46.6%	47.5%	100.0%

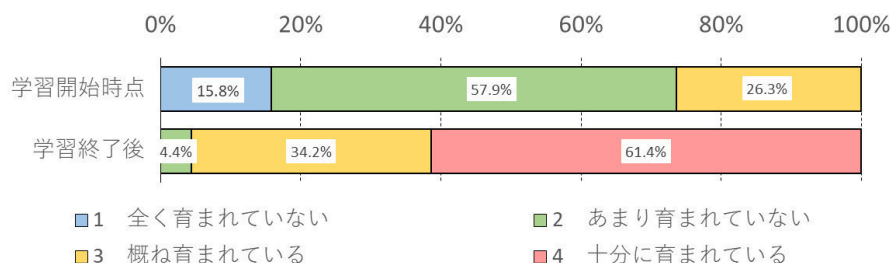


知識の獲得状況 5 ○数学科

学年	3年	教科	数学	授業者	山下孝二
学習のくくり名	論理・測量の拡張				
学習場面	三平方の定理, 円周角の定理, 相似な図形の性質の活用				
AB4の知識	図形の性質を用いて解明・説明することの社会的必要性や意義, 数学的な根拠をもとにした見方や考え方がもつ社会的な意味や働きのとらえ方。				
本質的な問い (レベル4)	図形の性質を用いて解明, 説明することや数学的な根拠をもとにした見方や考え方をすることの社会的な必要性, 意味, 働きとは。				
AB4の知識が十分に育まれた生徒の記述例	学習のくくりの共通テーマである, 数学的な根拠をもとにした見方や考え方をすることの社会的な必要性, 意味, 働きについて考えてきて, その答えは私たちの幅を広げてくれる, というところにあるのではないかと感じた。今回学んだ様々なことを活用すると, これまでの学びではわからなかったような新しいこと, また, 本来1人なら絶対にわからないようなことまで計算することでわかってしまう。私たちの知識の幅はもちろん, 私たちの考えの幅, そして何より, 私たちの生活の幅を広げていってくれたのがこの学習のくくりでの学びだったように思う。わかったこと, 知ったことをそのままにしておくのではなく, 私たちの生活のどこかで応用していくことをこれからも意識して, またさらに新たなものを得ることができたらよい。				
AB3の知識	三平方の定理や円周角の定理, 相似な図形の性質の活用による, 円周率の求め方。				
本質的な問い (レベル3)	円周率の大きさが3.1よりも大きいことはどのようにして説明できるのか。				
AB3の知識が十分に育まれた生徒の記述例	円から円周率を求めた。これまでに学習したことを使って求め方を考えたけど, とても難しかった。けれど, 円での学びや三平方の定理などを上手く活用することで今までわからなかった様々なことがわかったり, 新たな道を切り拓いていくことができたりすることがわかった。				

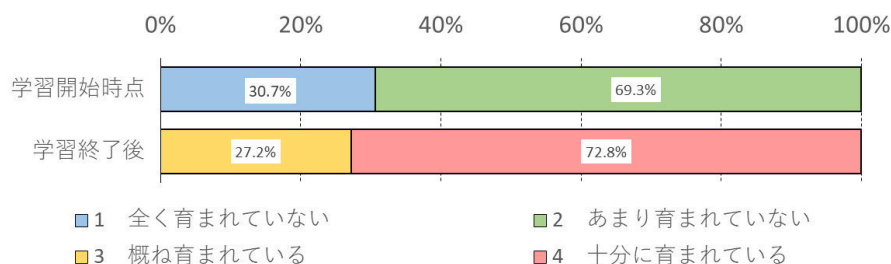
① AB4について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	18	66	30	0	114
	学習終了後	0	5	39	70	114
割合	学習開始時点	15.8%	57.9%	26.3%	0.0%	100.0%
	学習終了後	0.0%	4.4%	34.2%	61.4%	100.0%



② AB3について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	35	79	0	0	114
	学習終了後	0	0	31	83	114
割合	学習開始時点	30.7%	69.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	学習終了後	0.0%	0.0%	27.2%	72.8%	100.0%

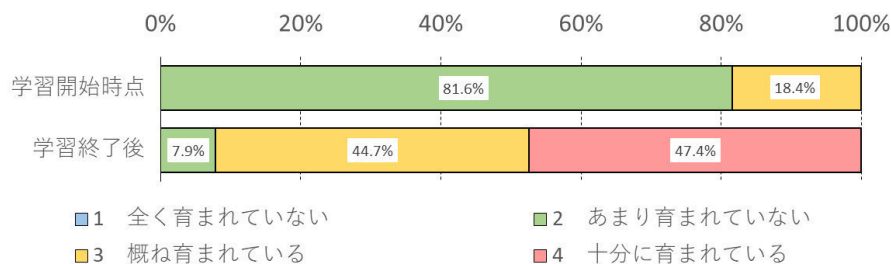


知識の獲得状況 6 ○理科（１）

学年	3年	教科	理科	授業者	石田 隆
学習のくり名	原子の先にあるもの				
学習場面					
AB4の知識	原子より更に微細な構造をとらえ解明してきた人類は、そこから得られた知見をもとにこの先の持続可能な社会を実現しようとしているという考え方に対する自分なりの意見や立場。				
本質的な問い (レベル4)	イオンは私たちの日常生活や生命活動とどのように関わっているのか。				
AB4の知識が十分に育まれた生徒の記述例	原子にはマイナスの電子があって、それが出入りすることで原子はイオンになる。イオンの状態になると様々な変化が起こる。このように変化が起こるから、その変化を利用して私たちは、物を加工したり、エネルギーとして使ったりすることができる。だから、イオンは私たちの生活をよりよくしていくような関わりということができる。しかし、変化が起こるから時にはメリットだけでなくデメリットもある。だから、悪影響を及ぼす関わりもあるかもしれない。でも、それを少なくできるのもイオンだと思う。これから技術が発展していく中でもイオンは重要なポイントになると思う。水質をよくしたり、水素をエネルギーにしたりなどイオンを利用していけばもっとよりよい生活へとなっていくと思う。それに原子までではなくイオンまで見ることによって、変化を具体的にしたり、より詳しく知ったりすることができ、問題の解決につながっていくかもしれない。だからイオンは私たちの生活の質を向上させてくれるような関係でもあるかもしれない。				
AB3の知識	イオンの概念				
本質的な問い (レベル3)	イオンは化学変化とどのように関係しているのだろう。				
AB3の知識が十分に育まれた生徒の記述例	イオンは直接見るができないすごく小さな物質である。どのような働きをしているのかも見るができない。でも、私たちの身の回りの物質すべてにイオンが関係していて、変化や性質など電子の数や受け渡しなどイオンが関わっている。他にも生命活動にまでイオンが関わっているから、私たちはイオンと共に生活していて、イオンがあるから生きていくことができるのだと思う。				

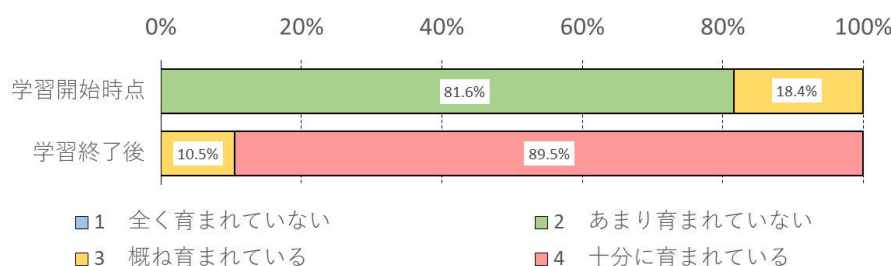
① AB4について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	0	31	7	0	38
	学習終了後	0	3	17	18	38
割合	学習開始時点	0.0%	81.6%	18.4%	0.0%	100.0%
	学習終了後	0.0%	7.9%	44.7%	47.4%	100.0%



② AB3について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	0	31	7	0	38
	学習終了後	0	0	4	34	38
割合	学習開始時点	0.0%	81.6%	18.4%	0.0%	100.0%
	学習終了後	0.0%	0.0%	10.5%	89.5%	100.0%

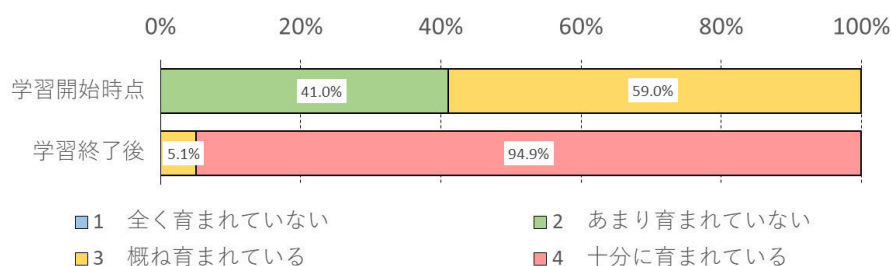


知識の獲得状況 7 ○理科（2）

学年	2年	教科	理科	授業者	田中誉也
学習のくり名	電気と人とのかかわり				
学習場面					
AB4の知識	電気エネルギーの生成(発電)と消滅(消費)をともなう人間の活動が自然界に及ぼす影響を最小限にとどめようとする考え方に対する、自分なりの意見や立場。				
本質的な問い (レベル4)	私たちの日常生活を支える電気の、適切な生み出し方と消費の仕方とは、どのようなものだろう。				
AB4の知識が十分に育まれた生徒の記述例	電気というのを見てみると、あまりかかわりが深そうではないが、学習を進めていく中で、僕たちの生活にとっても密な関係であると思った。特に、研究発表会でやった、電気の利用の実験は、とても印象強く残っている。どれくらい、僕たちが普段「充実」を求めているのか、どれくらい「快適」を求めているのかがよく分かった。また、「環境」に対して、それらがどのようにかかわっているのかもよく分かった。この学びを、生活に生かしていけるようにしたい。				
AB3の知識	電磁気に対する初歩的な概念(電力量と熱量が同じものであるという見方・考え方と、エネルギーがそれらと等価であるという、科学的なエネルギー概念の芽生え)。				
本質的な問い (レベル3)	電気は、磁石や電子、熱、エネルギーと、どのようにかかわっているのだろう。				
AB3の知識が十分に育まれた生徒の記述例	今まで、電流と磁界は全く違うものだと思っていたけれど、今回調べたことで、電流が流れると磁界が生まれ、磁界が動くと電流が生まれる、という、電流と磁界の関係を知ることができた。電磁誘導について、もっと調べてみたい。				

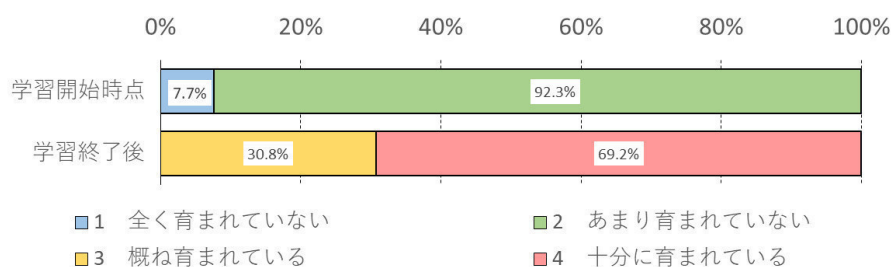
① AB4について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	0	16	23	0	39
	学習終了後	0	0	2	37	39
割合	学習開始時点	0.0%	41.0%	59.0%	0.0%	100.0%
	学習終了後	0.0%	0.0%	5.1%	94.9%	100.0%



② AB3について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	3	36	0	0	39
	学習終了後	0	0	12	27	39
割合	学習開始時点	7.7%	92.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	学習終了後	0.0%	0.0%	30.8%	69.2%	100.0%

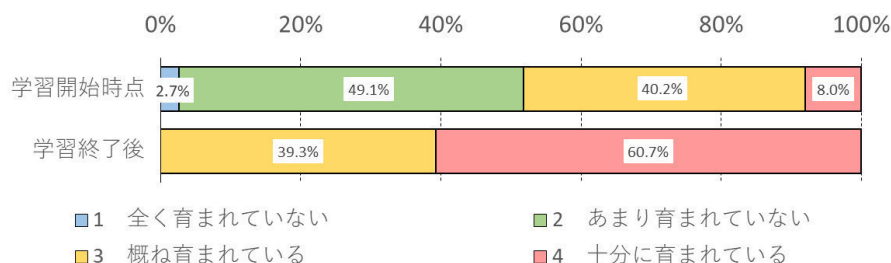


知識の獲得状況 8 ○音楽科

学年	3年	教科	音楽	授業者	山下美帆
学習のくくり名	心と音楽とのかかわり				
学習場面	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう ～『ブルタバ』～				
AB4の知識	音楽は、その文化的な価値や伝えたい感情を他者と共有させることで、自己の美の世界を広げることができるという音楽観。				
本質的な問い (レベル4)	人と人とがかかわり、心を通わせ、よりよい未来へとつなげる音楽とは。				
AB4の知識が十分に育まれた生徒の記述例	音は時に、言語以上の表現力をもつと思った。自然の様子は言語で表現できる世界に限界がありそれを表現するのに感性・感覚の域に達することもある。それまでも音楽によって表現することができる。音楽は芸術であり、人間の感性を大切にする教科の1つだ。音楽には人の心を動かすだけの力がありその力を実感し活用することができた。今回扱った楽器の1つであるウインドチャイムは生活の中で実用化されている。風鈴のように天井につるして風になびいて奏でる音色によって暑さを緩和させる働きをしている。その音色は人の心にある意味動かすともいえる。それは生活を豊かにするということであると思う。				
AB3の知識	音楽の特徴を、音楽を形づくっている要素や構造と曲想のかかわり、背景などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評すること。				
本質的な問い (レベル3)	多様な音楽表現と感情とのかかわりとは。				
AB3の知識が十分に育まれた生徒の記述例	音楽を聞いて、いろいろなイメージが生まれる。そのイメージは音色だったり強弱だったり、また速さによって変わってくる。音に音楽的な特徴(強弱・速さ・高さ・弾き方等)をもたせることで曲のイメージがつき、ブルタバを聞いて1つの物語をイメージすることができた。これまで、音楽は人の心を癒したり悲しませたりするものだと思っていた。しかし、それ以外にも音で伝えられるものがあることを知った。音はすごく良いもので、広く深いものだと思った。				

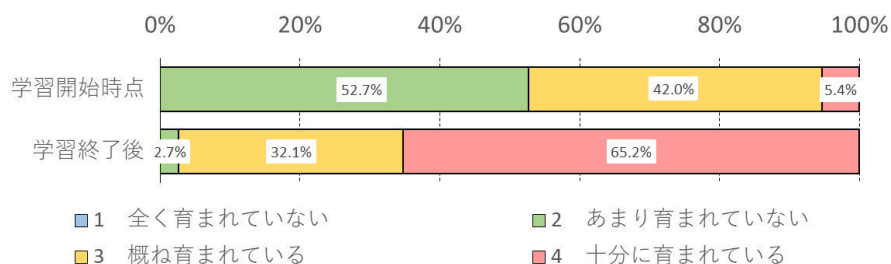
① AB4について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	3	55	45	9	112
	学習終了後	0	0	44	68	112
割合	学習開始時点	2.7%	49.1%	40.2%	8.0%	100.0%
	学習終了後	0.0%	0.0%	39.3%	60.7%	100.0%



② AB3について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	0	59	47	6	112
	学習終了後	0	3	36	73	112
割合	学習開始時点	0.0%	52.7%	42.0%	5.4%	100.0%
	学習終了後	0.0%	2.7%	32.1%	65.2%	100.0%

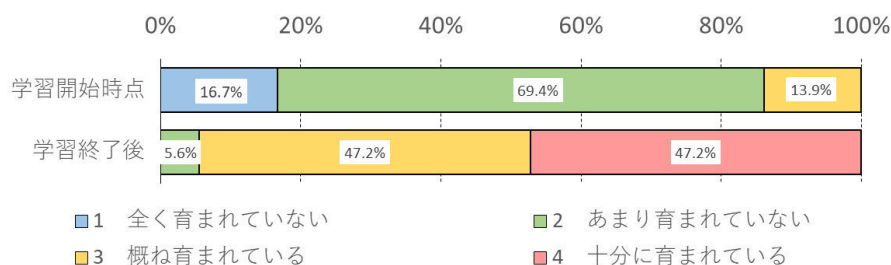


知識の獲得状況 9 ○美術科

学年	3年	教科	美術	授業者	廣岡誠司
学習のくり名	美術の「チカラ」				
学習場面	社会の中にある美術の役割				
AB4の知識	自他の生活を美しく感動ある豊かなものにするための、自らの生涯における「美術の『チカラ』」とのかかわり方。				
本質的な問い (レベル4)	「美術の『チカラ』」を利用・活用しながら、より豊かに生活するためにはどうしたらよいか。				
AB4の知識が十分に育まれた生徒の記述例	社会が示す対象は、人それぞれである。しかし、生活を彩ることで新しく見えてくる世界もあるし、人々にメッセージを伝えることで、誰かがその思いを受け止めてくれるかもしれない。また、多くの人が過ごしやすい環境をつくることで、もしかしたら社会がよりよくなることもありえる。その「かもしれない」を現実にする、しようとするものこそが「美術の『チカラ』」なのではないだろうか。これを存分に引き出すことで「幸せ」がうまれるのではないか。＜中略＞やはりこうして改めて「美術」について考えてみると、言葉では表現することができないほどに「広すぎるもの」であると実感した。だからこそ難しさもあるが、それによって広がる可能性もあるはずだ。自分自身で考えをもっていくことが必要だと思った。				
AB3の知識	美術は人や社会に大きな影響を与える『チカラ』をもっているという見方・考え方。				
本質的な問い (レベル3)	社会生活の中で、人々が利用・活用している「美術の『チカラ』」とはどのようなものか。				
AB3の知識が十分に育まれた生徒の記述例	今回の学びでは、改めて「美術の『チカラ』」について考え、その多様性を感じる事ができた。今まで追究してきた「美術の『チカラ』」やデューションの用いた「チカラ」も含めて考えてみると、そのことがよくわかるはずだ。「美術の『チカラ』」には大きく分けて3つのものがある。①生活を彩るチカラ ②人々に視覚的に訴えるチカラ そして、③ユニバーサルデザインの様に生活を支え豊かにするチカラである。一見異なるもののように思うそれらであるが、行き着く先には「社会の歯車を回す」という1つの目的があるように私は考える。				

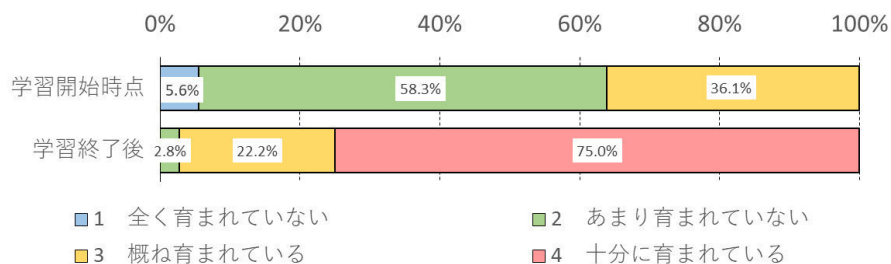
① AB4について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	6	25	5	0	36
	学習終了後	0	2	17	17	36
割合	学習開始時点	16.7%	69.4%	13.9%	0.0%	100.0%
	学習終了後	0.0%	5.6%	47.2%	47.2%	100.0%



② AB3について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	2	21	13	0	36
	学習終了後	0	1	8	27	36
割合	学習開始時点	5.6%	58.3%	36.1%	0.0%	100.0%
	学習終了後	0.0%	2.8%	22.2%	75.0%	100.0%

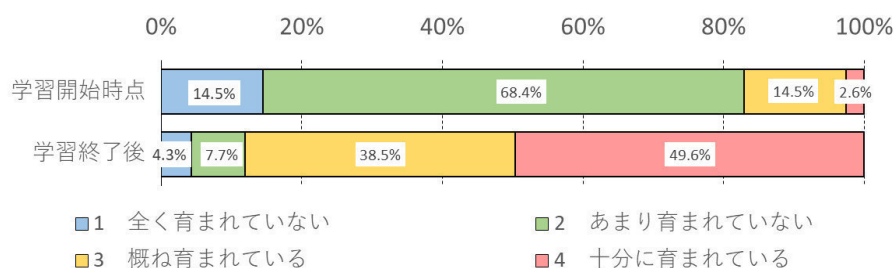


知識の獲得状況 10 ○保健体育科

学年	3年	教科	保健体育	授業者	柴田広祐, 伊藤紫乃
学習のくり名	健康な生活と病気の予防				
学習場面	飲酒・喫煙・薬物乱用と健康				
AB4の知識	酒・たばこ・薬物が身近にある現代において、誰もが健康で豊かに生きられる世界を実現するには、人々が手を取り合い、互いの健康を保持増進することこそが必要不可欠であるという、自己の生き方や社会のあり方に対する捉え。				
本質的な問い (レベル4)	個人や集団の健康を保つために、社会の一員としてどのように飲酒・喫煙・薬物乱用に向き合って生活していこうと考えるか。				
AB4の知識が十分に育まれた生徒の記述例	歴史をみてきたが、「手を出してしまう」とはまた違うという考えに至った。時代と共に薬物本来の使い方や目的が変化していき、定着してしまったのだ。ある国では、ストリートチルドレンが空腹や寒さから逃れようとして薬物を乱用する。それは、生活や社会の一部となり常識となっている。「手を出す」のではなく、「やめる」という考え自体がなくなってしまったのだ。＜中略＞これからは、私たちの世代が薬物を使用するという環境そのものを変えていく必要があると思う。				
AB3の知識	科学的な理解に基づいた、酒・たばこ・薬物との適切な付き合い方。また、酒・たばこ・薬物が身近にある現実を直視し、誰もが健康で豊かに生きられる世界を実現するという考え方。				
本質的な問い (レベル3)	なぜ人間は酒・たばこ・薬物に手を出したり、繰り返し使用したりするのか。				
AB3の知識が十分に育まれた生徒の記述例	元々医学的に研究が進んでいなかったせいで、昔の人々は十分な知識がなく、薬物に対しての考え方があまかった。そのころから薬物の使用が根付いてしまった。少なくとも歴史が一つの原因であることは、確かだと私は感じた。＜中略＞また、社会の中での長時間労働などもこれらの乱用につながってくる。このように社会の動きが私たち一人一人に何かしらのきっかけを生んでいることも確かなのだ。				

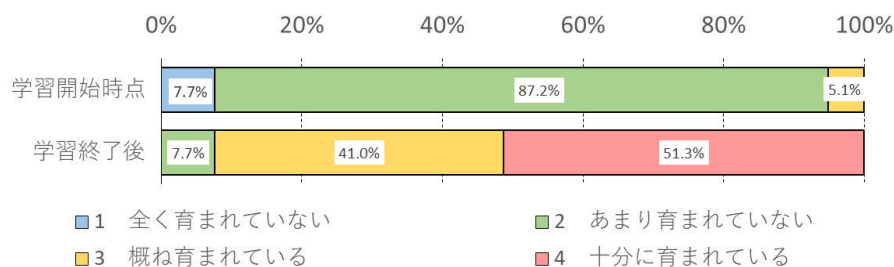
① AB4について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	17	80	17	3	117
	学習終了後	5	9	45	58	117
割合	学習開始時点	14.5%	68.4%	14.5%	2.6%	100.0%
	学習終了後	4.3%	7.7%	38.5%	49.6%	100.0%



② AB3について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	9	102	6	0	117
	学習終了後	0	9	48	60	117
割合	学習開始時点	7.7%	87.2%	5.1%	0.0%	100.0%
	学習終了後	0.0%	7.7%	41.0%	51.3%	100.0%

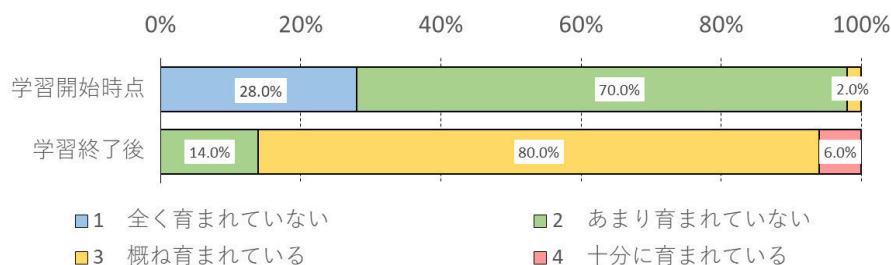


知識の獲得状況 1 1 ○技術・家庭科（技術分野）

学年	1年	教科	技術	授業者	草野正義
学習のくり名	高度情報社会を生きる				
学習場面					
AB4の知識	よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しようとする生き方やあり方。				
本質的な問い (レベル4)	高度情報化社会において、よりよく生きるとは。				
AB4の知識が十分に育まれた生徒の記述例	情報というのは、私たちにより効率のよい便利で豊かな生活を作ってくれているものでもあると思うが、その反面、危険な目にあってしまうこともあるので注意したい。今回、自分たちの住んでいる地域の紹介をするWebページを制作したが、自分の個人情報や誰でも見られるところに絶対にはいけなかったし、悪用される可能性がある危険性もひそんでいる。肖像権や著作権の問題にも気を配って情報を正しく扱うべきである。だからこそ、目的に応じて上手に活用しないと危険な目に遭うかもしれない。つまり、適切な情報をしっかりと評価して使い分けるといった判断力が大事なのではないだろうか。				
AB3の知識	相手の存在に配慮し、目的に応じて適切かつ効果的に情報を活用するという考え方。				
本質的な問い (レベル3)	情報のデジタル化がもたらすものとは。				
AB3の知識が十分に育まれた生徒の記述例	情報とは発信する立場と受診する立場の両者があって初めて成り立つ。情報社会と言われなかった頃は、人類にできることは限られており、しかもやろうと思ったことも時間と労力を費やさなければできないこともあった。また、安全性も保障されている暮らしではない。しかし、今は情報技術が発展し、人々に豊かな暮らしをもたらしてくれた。また、こうした高度で複雑な情報技術の社会に、人類は知恵を大きく発展させた。私たちは情報はどこへ行っても手に入りやすくなり、そうした生活に満足している。人々の暮らしは確実に豊かになったと言える。しかし、「情報のやりとりがいかにかに重いやりとりであるか」を忘れてしまうと、思いもよらぬことになる。情報の便利さの裏には複雑な構成があり、多くの人がそのことを知らない。そのため、安易な考えが責任のない行動を生み、社会全体を困らせる。				

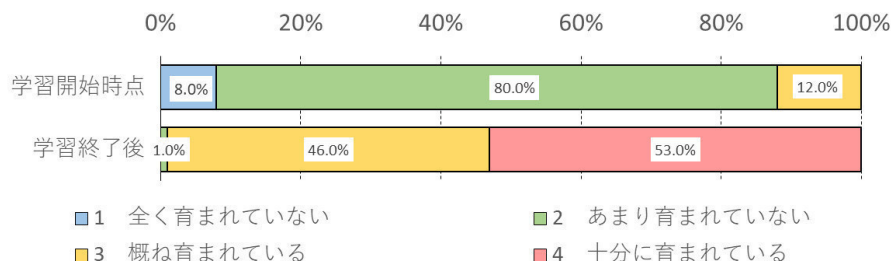
①AB4について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	28	70	2	0	100
	学習終了後	0	14	80	6	100
割合	学習開始時点	28.0%	70.0%	2.0%	0.0%	100.0%
	学習終了後	0.0%	14.0%	80.0%	6.0%	100.0%



②AB3について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	8	80	12	0	100
	学習終了後	0	1	46	53	100
割合	学習開始時点	8.0%	80.0%	12.0%	0.0%	100.0%
	学習終了後	0.0%	1.0%	46.0%	53.0%	100.0%

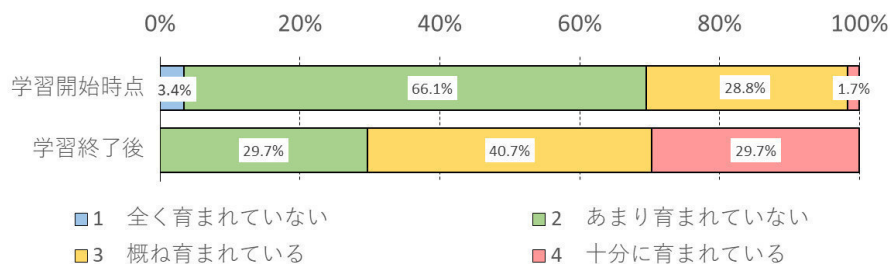


知識の獲得状況 1 2 ○技術・家庭科（家庭分野）

学年	1年	教科	家庭	授業者	深田貴代
学習のくり名	食の現代的な課題に迫ろう				
学習場面	食生活と自立				
AB4の知識	食について自分の消費生活が社会における課題とどのように結びついているかを理解した上での、自分の生活や社会の課題解決に向けた自分のあり方に対する捉え。				
本質的な問い (レベル4)	私たちの生活と食のつながりを考えた自分のあり方とは。				
AB4の知識が十分に育まれた生徒の記述例	身近な生活の中から生まれる課題を常に考えていくことが大切だと考えた。課題解決をするためには、自分自身の行動で変えていけることと、社会全体で考えていく必要があることがある。自分はず、家族との協力が必要となるが、「必要なもの以外は買わない」ということをやっていきたい。例えば、我が家では時に使いきれずに賞味期限や消費期限が過ぎてしまい、食わずに捨ててしまうこともある。これらは食品ロスにつながり、地球全体で考えるべき食糧問題などの一端である。様々な視点で「常に考えて生活する」ということを大切にして、実践していきたいと思う。そして、自分たちを中心に、家族や友達にから少しずつ広げていくことが大切だと考えた。				
AB3の知識	健康的な食生活を営むために、中学生に必要な栄養の取り方や献立作成、調理や食文化などにかかわる知識と技能を生かして、自立した食生活を実践していこうとする見方・考え方。				
本質的な問い (レベル3)	自立した食生活に向けて、自己の課題を解決していく方法とは。				
AB3の知識が十分に育まれた生徒の記述例	私たちが健康であるためには、栄養・運動・休養が大切であるが、どれが欠けても健康は保てない。栄養も同様である。栄養素の働きを知り、どのような食品をどれくらい、どのようにとるかなど基本的なことを理解することで、自分自身で健康的な体を作り、管理をしていくことができる。また、食事は、栄養のバランスとともに、味の良さ、見た目の良さ、食事をする時の環境が大切である。そして、安全・安心な食事は手際の良さからも生まれると考えた。				

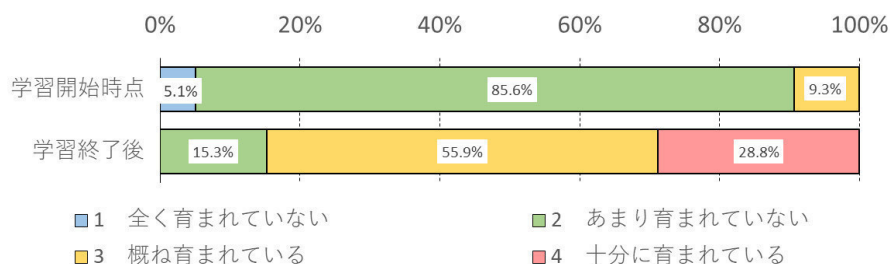
① AB4について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	4	78	34	2	118
	学習終了後	0	35	48	35	118
割合	学習開始時点	3.4%	66.1%	28.8%	1.7%	100.0%
	学習終了後	0.0%	29.7%	40.7%	29.7%	100.0%



② AB3について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	6	101	11	0	118
	学習終了後	0	18	66	34	118
割合	学習開始時点	5.1%	85.6%	9.3%	0.0%	100.0%
	学習終了後	0.0%	15.3%	55.9%	28.8%	100.0%

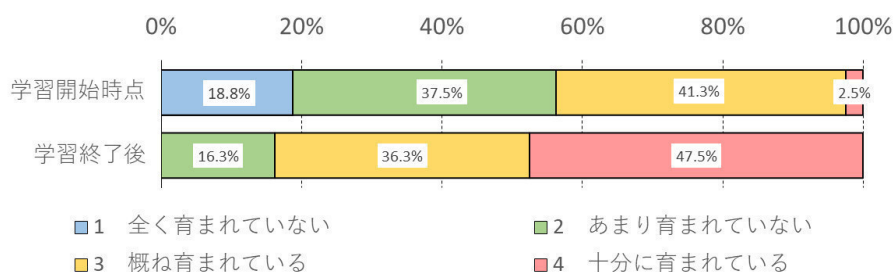


知識の獲得状況 13 ○英語科

学年	1年	教科	英語	授業者	西條秀俊
学習のくくり名	My Precious Person				
学習場面					
AB4の知識	他者を尊重し、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら自分の大切な人について伝え合う中で、様々な人の魅力について触れ、他者を受容し、自分の視野を広げようとするコミュニケーション観。				
本質的な問い (レベル4)	大切な人の紹介を通し、思いを相手と共感して生まれるつながりとは。				
AB4の知識が十分に育まれた生徒の記述例	大切な人は私にとってかけがえのない存在であると感じ、大切な人を改めてより詳しく知ることができた。相手と語り合うときには、アイコンタクトをとったりした。そして、相手の大切な人を詳しく知るために質問をしたりした。＜中略＞私も相手の大切な人に対する思いが共感できた。この共感から生まれるつながりとは、相手のことをよりよく知ることができ、今まであまり仲良くしていなかった人とも仲良くなるきっかけが作れるということだと思う。思いを共感した人も自分の大切な人となり、新たな発見に気づける。この大切な人の紹介を通して、クラス、学年や学校のつながりが、より強化されると思った。				
AB3の知識	自分の大切な人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、適切な表現を用いて伝えること。また、相手からの質問に答えたりして、自分たちの思いを伝え合うこと。				
本質的な問い (レベル3)	大切な人を紹介するためには、どのような内容や英語表現を取り入れればよいか。				
AB3の知識が十分に育まれた生徒の記述例	自分の大切な人について紹介するとき、どのようなことを伝えることができたならその人についてみんなに分かってもらい、関心をもってもらえるのか、今まで習ったことの中で「My Precious Person」を紹介するにあたって、使えそうなものは何かなどを班のみんなで話し合った。結局、その人の性格や好きなこと、できることだけでなく、その人の周りの人についても紹介するとおもしろいのではないかという結論を出すことができた。				

① AB4について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	15	30	33	2	80
	学習終了後	0	13	29	38	80
割合	学習開始時点	18.8%	37.5%	41.3%	2.5%	100.0%
	学習終了後	0.0%	16.3%	36.3%	47.5%	100.0%



② AB3について

	時点	1 全く育まれていない	2 あまり育まれていない	3 概ね育まっている	4 十分に育まっている	計
人数 (人)	学習開始時点	3	40	34	3	80
	学習終了後	0	13	26	41	80
割合	学習開始時点	3.8%	50.0%	42.5%	3.8%	100.0%
	学習終了後	0.0%	16.3%	32.5%	51.3%	100.0%

